

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告 (第77回)

実施日時:2017年12月20日(水) 10:30~15:10

参加者:豊田先生、金子先生、廣岡先生、中田先生、上地先生

+クラブ員(14)=19名

活動場所:園芸療法ガーデン、東作業室

スケジュール;10:30~ 花壇維持管理、草取り

12:00~ 昼食をとりながら懇親

13:30~ ミニ講座『竹を使った正月飾りづくりを皆さん、一緒に!』

~ミニ門松風の容器に、餅花などを飾ります~



冬至が間近な、年末も押し迫った例会日、キャンパス内ではメタセコイアなど落葉樹の個性的な枝振りが際立ち、青空に映えています。

好天と風のない日和に恵まれ、多くの皆さんが集まりました。

先月の作業で切り揃ったサワラの生垣のある実習ゾーンでは、赤の葉脈と緑が目立つスイスチャードやハボタンなどのほかは、不織布のトンネルで花苗を育成中のため、今日の作業は入口から展示ゾーンが中心です。

順々に移動し、植物の状態の観察をしながら、豊田先生から作業内容の説明を受け、スタートです。

入口から触れる花壇辺りの伸びたヘデラや香りの花壇の広がったアップルミントなどの除去のほか、音の花壇ではキク類を冬至芽を残し、切戻しなどを行いました。

作業の合い間、葉に隠れて冬越するテントウムシや伝統園芸植物として愛でられていたという胞子で殖えるシダ植物のマツバランの可愛い姿、そしてフェイジョアの下の日だまりで膨らんだスイセンの蕾を見つけるのは、この時期ならではの楽しさです。

昼食は、多くの実をぶら下げたモミジバフウの

下を通り、東作業室に移動、Aさんの自家製野菜のダイコン・ニンジン等々種類もたっぶりの具沢山の身体の温まるトン汁、差し入れのケーキなどを美味しく味わいました。

午後のミニ講座は、ミニ門松風の正月飾りづくり。ガーデナー本科コースの竹炭づくりの際の太い竹とクラブ員などが採取した細い竹を、廣岡先生・中田先生にも尽力いただき、それぞれ、寸胴と3本づつをソギ(斜め)にカット。

さらに飾りものとして、採取したクロマツなどが当日用意した(紅い)餅花を付けたオウゴンシダレヤナギの枝、11月のリースづくりの際の稲穂、そして(表裏)金と赤の折り紙を使い皆さんで折った"祝いツル"を、各自持ち帰り、工夫して、正月飾りに仕上げていただくことにしました。

今日、豊田先生からクラブ活動の幅を広げる新展開への提案がありました。

メンバーの皆さんにとって、楽しい活動に取り組む新年になりますよう、またより多くの皆さんの参加で活動の輪が広がるよう祈念します。

先生方をはじめ多くの皆さんの力で、この一年の活動も無事締めくくることができました。ありがとうございました。皆さまお疲れさまでした。

<世話人:植田(12/22記)・小柳>

今後の予定

1/31* 2/28 3/28

毎月 第4水曜日

ただし、1/31*は第5水曜日

(変更の場合がありますので、案内メールでご確認をお願いします)